



INFORMATION

重要

4/26(月)より
開館時間を変更してます！
8:30～16:30 (平日)
8:30～13:30 (土曜)

※5/21(金)まで。5/25(火)も上記時間です。
※図書館玄関扉にもスケジュール掲示してます

おねがい

- ①マスクの常時着用。
- ②入室前のアルコールによる手の消毒。
- ③隣と1つ座席をあけて着席。
- ④私語はつつしんで下さい。
- ⑤体調不良時の利用はお控えください。

ご不便をおかけしますが
よろしくお願ひします。



毎学期、予定している「雑誌付録抽選会」と「雑誌・英字新聞バックナンバーお持ち帰り会」ですが、混雑が予想されるため、今学期も中止します。

また違う方法で
開催できるように
現在検討中です。

開催方法が決まりましたら「manaba」
「google classroom」でお知らせします。

SORRY...



「何か面白い本はないかな？」と思ったとき、みなさんはどのようにして小説を探していますか？人におすすめの本を聞いたり、書店で平積み(表紙をむけている)の本を選んだり色々な方法がありますが、手っ取り早いのは文学賞を受賞した作品を読んでみることに！

今回は、数ある文学賞の中から書店員の投票で選ばれた『本屋大賞』とベテラン作家が選考委員をつとめる『芥川賞』、『直木賞』からピックアップしました。



ノミネート作 10 作から全国の書店員による投票によって大賞が決まるという珍しい選出方法。最も旬な本といっても過言ではない？！

2021 年本屋大賞



『52 ヘルツのクジラたち』町田そのこ/中央公論新社
自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

2021 年本屋大賞 第 2 位

『お探し物は図書室まで』青山美智子/ポプラ社
悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくる、書き下ろしハートウォーミング小説。

2021 年本屋大賞 第 3 位

『犬がいた季節』伊吹有喜/双葉社
1988 年夏の終わりのある日、高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられ、以来、生徒とともに学校生活を送ってゆく。昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、コーシローが見つめ続けた 18 歳の逡巡や決意を、瑞々しく描く青春小説。



2020 年度は…

- 大賞 『流浪の月』 凧良ゆう/東京創元社
第 2 位 『ライオンのおやつ』 小川糸/ポプラ社
第 3 位 『線は、僕を描く』 砥上裕将/講談社

【番外編】2021 年翻訳小説部門の第 1 位！
(2019 年・2020 年アメリカで一番売れた小説)



『ザリガニの鳴くところ』
ディリア・オエズ・友廣純訳/早川書房
ノースカロライナ州の湿地で青年の遺体が見つかる。村の人びとは「湿地の少女」が何に疑いの目を向ける。幼いころ家族に見捨てられてから、人々にさげすまれながらたった一人湿地で生き抜いてきたカイアは果たして犯人なのか？



芥川龍之介賞 (芥川賞)

正式名称は芥川龍之介賞。文豪「芥川龍之介」の業績を記念し、菊池寛が発案。「純文学」の新人に与えられる「新人賞」で、年に 2 回発表される。お笑い芸人のピース又吉さんが「火花」で受賞したことで話題に。

第 164 回 芥川賞

『推し、燃ゆ』宇佐見りん/河出書房新社
逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を“解釈”することに心血を注ぐあかり。ある日突然、推しが炎上し?? 2019 年デビュー作『かか』が第 56 回文藝賞受賞、第 33 回三島由紀夫賞を受賞し話題となった作者の第 2 作。



第 163 回 芥川賞

『破局』遠野 遥/河出書房新社
私を阻むものは、私自身にほかならない。ラグビー、筋トレ、恋とセックス。ふたりの女を行き来する、いびつなキャンパスライフ。2019 年文藝賞でデビューした新鋭による第 2 作。



第 161 回 芥川賞

『むらさきのスカートの女』
今村夏子/朝日新聞出版
近所に住む「むらさきのスカートの女」が気になる(わたし)。自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導し、その生活を観察し続け…。狂気と紙一重の滑稽さ。(わたし)が望むものとは？



直木三十五賞 (直木賞)

芥川賞とともに年に 2 回発表される。「直木三十五」の業績を記念して開設。「大衆小説」に与えられる賞であり、かつては、新人が受賞する賞だったが、現在ではすでに人気の確立した中堅作家が受賞することが多い。

第 163 回 直木賞

『少年と犬』馳星周/文藝春秋
家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた。人生の無常と犬の神秘性を描いた全 6 編を収録。犬を愛するすべての人に捧げる感涙作！



第 159 回 直木賞

『ファーストラヴ』島本理生/文藝春秋
父親殺害の容疑で逮捕された女子大生・環菜。彼女はなぜ、そうしなければならなかったのか。臨床心理士・由紀は、彼女の抱える秘密に迫る。そして裁判は意外な結末を迎え…。



第 156 回 直木賞

『蜜蜂と遠雷』恩田 陸/幻冬舎
私はまだ、音楽の神様に愛されているだろうか? ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。著者渾身、文句なしの最高傑作!



「芥川賞と直木賞の違いを比較！」

	芥川賞	直木賞
正式名称	芥川龍之介賞	直木三十五賞
創設者	菊池 寛 (文藝春秋の創設者)	
対象作品	純文学	大衆小説
原稿量	短編～中編	短編～長編
正賞・副賞	懐中時計・100万円	
発表時期	1月と7月の年2回	
選考委員	10人	9人

ここにあげた作品以外にも、たくさんのお受賞作品を今月の特集コーナーで紹介しています。きっとお気に入りの作品・作家が見つかるはず！お待ちしております!!

